

広報 てらどまり

1981
3/1
No.87

近づく新入学

入学期が近づきました。子供たちは、期待と不安に胸をおどらせる季節です。この子供たちは、どんな将来を夢見ているのでしょうか。あたたかい気持ちで見守ってやりましょう。

(山ノ脇小学校での一日入学)

〈として保存しましょう〉

〈人口の動き〉 昭和56年3月1日現在 人口13,644 (男 6,590 女 7,054) 3,080世帯
() は前月比 (+11) (+1) (+10) (-3)

暴走族の暴走行為などの行政処分の強化

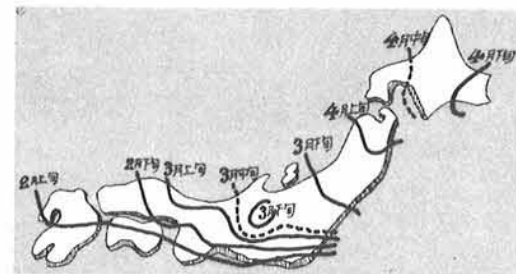
暴走族の暴走行為(共同危険行為等禁止違反)や無謀運転による死亡事故を防止するため、56年1月1日から、次のように行政処分が強化されることになりました。

違反内容	旧	新	改正後の処分
共同危険行為等禁止違反	9点	15点	免許の取消し
○50キロ以上の速度超過	6点	12点	免許停止日数の延長。 処分前歴等がある人は免許の取消し。
○無免許運転	8点	12点	
○大型自動車等無資格運転	8点	12点	
○仮免許運転違反	8点	12点	
酒気を帯びてした○印違反	9点	13点	

春の足どり

木の芽ふく春。春の花や樹木が「冬眠状態」から覚め、育成をはじめるとは一日の平均気温が摂氏五度以上になったから、といわれています。春は摂氏五度とともにやってくる。といえますが、この平均気温摂氏五度以上の期間を「植物期間」といって、花や樹木、冬越しの野菜などの成育上、大切な目安となっています。ご存じのように日本の春は南からやってきて、しだいに北上していきます。つまり、一日の平均気

等温線から割り出しますと、二月上旬から三月中旬にかけて西日本では一日約十キロメートルですが、東日本に入ると、西日本の四分の一にスピードダウンします。これが三月中旬以降になると、一段とスピード・アップして、一日約二十キロメートル、時速約八百メートルで北海道をめざして春は北上を続けます。春は二月上旬に九州に上陸し、約三か月かけて日本列島を縦断、野の草花や樹木を長い冬の眠りから目覚めさせるのです。



温帯五度の線(等温線)が、いつごろ、どの辺を通っているかを見れば、春の足どりをたどることができます。いったい春はどのくらいのスピードで日本列島を北上するのでしょうか。

ご利用ください

町では、商工業者の育成振興を図るために昭和56年度「産業育成資金」融資を下記要領により受付けますのでご利用ください。

1. 対象者 町内中小商工業者
2. 貸付限度額 300万円
3. 貸付期間 3年
4. 貸付利率 信保付 年6.75%(現行)
その他 年7.25%(現行)
貸付利率については、今後公定歩合の変動により、改正される場合もあります。
5. 申し込み先 役場商工観光課又は大河津支所
6. 受付期限 56年4月貸付分については、3月25日まで。
5月以降貸付分については、毎月10日締切り。
※詳細については、役場商工観光課までお問い合わせください。

収入役に家合俊雄氏



中島町長は、1月25日付けで任期満了により退職された解良六郎氏の後任に、上田町の家合俊雄氏を第2回臨時町議会（2月18日）で、同意を得て2月20日付けで選任しました。

家合氏は、大正13年1月1日生まれで、昭和22年10月1日農地委員会に勤務、その後、住民課長、税務課長、保健衛生課長、総務課長などを歴任され、これから4年間収入役としてご尽力いただくことになりました。

■人事案内

二月二十日付けで人事異動が次のように、発令されました。

総務課長 納谷一徳（建設課長）
建設課長 助役事務取扱



古文書に親しむ会員



女性の方々にも親しまれています

古文書の魅力にとりつかれて

寺泊は古い歴史の町であり、あちこちに秘蔵されている古文書が昔を今に伝えている。だが古い文献は眠らせたままでは意味がない。これを日に当て、温故知新の資として広く現代に活用しなければならぬ。こんな有志の声から「古文書に親しむ会」が生まれ、公民館活動の一環として、昨年九月以降、月三回の計画で古文書解説講座が開かれています。

生で、この道の権威者であられる。時参会者は、当初の申込み三十名中常時二十五名くらいが真剣に古文書解説の手ほどきを受けている。お元気な老人、真摯な青年、熱心なご婦人、ゆかしいご夫婦等、年齢も職業もまちまちな人たちが、夜一時間半の学習を続けている。

広い内容は受講者を魅了する。時には輪番で朗読させられたり、予習復習を強いられたりするが、会員は結構楽しんでおり、交わすことばの中に、この講座の意義と成果を認めているようである。

「古文書の日が待遠しい。老いても学ぶ気持ちは新鮮なものである」

「古文書解説もさることながら幅広い講義内容がとてもおもしろい」

「わが家にある古文書を引っ張り出して、少しずつ解説する楽しみ浸っている。」

「テキストで習った字は読めても別の古文書への応用力はまだまだである。」

「一回休めばみんなに遅れると思うと気が気でない。困難を克服して最後迄頑張りたいたい。」

「みんなの実力がついて、御用留

全書を解説し、これを活用できるようにしなければならぬ。」

「講師のご都合もあろうけれども回数をもっと多くしてほしい。」

こんな声の中で、次年度への期待をかけて、会員は張切っています。

功績をたたえて

町では、表彰条例の規定に基づいて町の政治、経済、文化、社会その他各般にわたって町政振興に寄与し、また衆人の模範と認められる行為があつた者を表彰しております。

今年の表彰者は、功勞表彰者六名の方々と、建国記念の二月十一日役場議場において行なわれ、中島町長から表彰状と記念品が贈られ、また、外山県議會議員と和田町議會議長からお祝いのお言葉があり、参列者一同その功績をたたえました。



功勞表彰者



竹内鹿蔵(60歳)夏戸

現在、寺泊町議會議員として、十二年在职され、この間、総務委員長、副議長などを歴任され、町政発展に寄与されました。



成田与一(66歳)夏戸

現在、寺泊町農業委員として、十二年在职され、この間、金融部長、農地部長を歴任され、農業行政の振興に寄与されました。

また、町の職員で二十年以上在職し、職務に精励し功勞表彰を受けられた四名は、次の方々です。

●高山都史 20年
国民健康保険診療所所長

●梅沢ミヤ子 21年
保健衛生課保健婦

●山田昭夫 22年
商工観光企画開発係長

●吉井 功 20年
教育委員会社会教育係長



親・子・孫、三代おしえたりおそわったり

明るい家庭 まゆ玉

のできない程でしたが、老いも若きもまゆ玉づくりに精を出していました。
このまゆ玉づくりは、豊作を願って行なわれる行事で、みんなを持ち寄った大判小判のまゆ玉せんべいや餅で作った稲穂を食紅で染めたものなどを木の枝にさげて楽しんでいました。
参加した人々は、これらの行事が行なわれることで「地域の和」ができ地域全体が明るくなったと話しておりました。



うまくなりましたネー



お孫さんや、お子さんへのおみやげでしょうか？



うまくなるかなお父さん

づくりに づくり

明るい家庭づくり推進モデル地区の指定を受け二年目を迎えた竹森部落では、毎日の目標を「今日のはじまり明るいあいさつ」と決め、地区民の連帯で明るい家庭づくりをめざし、運動会、さいの神、講演会等の行事を進めておりますが、さる二月十一日の休日に部落民により伝承のまゆ玉づくりと餅つき大会を行いました。忙しい仕事のあいまに集まった約一七〇名の参加で、公会堂の中は身動き



もちつきってむずかしいナー



ヨイショー、おもちはこうしてつくんだヨ



ママ、ボクのほうがじょうずみたい？



おじいちゃん、昔を思い出して、お孫さんのお手伝い



ボク、こういうのは、にがてなんだヨナー

新入所・新入学



早く保育所へおいでヨ お友だちが多勢イルヨ

4月から新しく入所・入学する子供さんを持つ家庭では、健康のことをはじめ、うまく集団生活を送れるだろうか、友だちとはできるだろうか、交通事故にあわないだろうか——考えれば

疲れの症状としては、朝なかなか起きられなかったり、頭痛、便秘、下痢になる場合もあります。また、動作が鈍くなって目がどんよりしたり、顔色がわるく、家の中でゴロゴロするようになったりします。



をいやがっても「小学生になったのだから……」などと一方的に叱るのは、いちばんよくありません。一年生になった喜びをもって楽しく通所・通学できるよう、温かい心づかいがほしいものです。

気をつけたい 子供の動作

通所あるいは通学し始めて一、二週間もすると、緊張感などが積み重なってどうと疲れが出てくるものです。

約束や規則を

守るにはどうするか

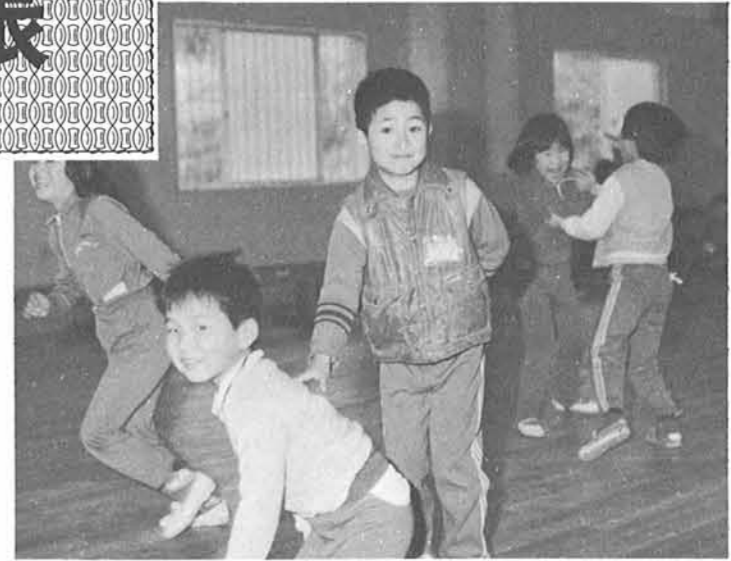
保育所や学校には、集団生活のきまりがあります。家庭では許される依頼心や甘えも、これからは通用しません。みんなで決めた約束やルールを守ることは、社会生活をしていくうえでの第一の基本です。保育所や学校は、子供にと



って最初は経験する社会であり、ひとりの「町民」としてのスタートの場でもあるのです。

用便や洗顔、食事のあとかたづけ、衣服の脱ぎ着など身のまわりのことは自分でするようにしつけ、集団生活の規則やエチケットをわきまさせることが大切です。また、対人関係のエチケットとしては、はい・いいえ・ありがと・すみませんをはっきり言うようにしておきたいものです。ところで、決まりや約束が守れず、忘れずにほめてやりましょう。守れなかったときは、しかる前に子供の身になって、たとえば内容的に無理がなかったかどうか、強制しすぎて子供の心情にキズをつけるようなことはなかったか——などの点をよく考えてから、適切な助言をするのが効果的です。

児童の“心得帳”



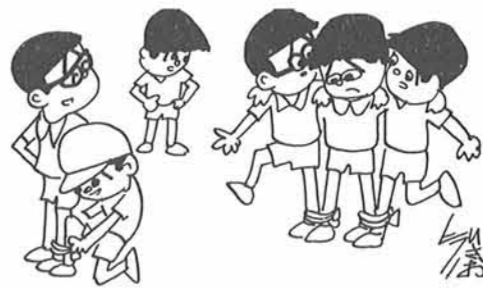
小学校も楽しいとこだよ

考えるほど心配のタネがつきな気がします。

そこで、入所・入学にあたって、お母さん方に気をつけていただきたい心得のいくつかをご紹介します。

まず、 友達づくりを

これまで家庭の中で、「お山の大将」をきめ込んでいた子供たちも、保育所や学校に入ると周囲は見知らぬ顔ばかりです。しかし、友達づくりは急速に進みます。一日も早く友達をつくるのが、子供たちにとって通所・通学をより楽しいものにする第一の秘けつです。



自己主張の強い子は協調性に欠けるところがあり、集団の遊びになじめず、すぐけんかをはじめたりします。また、口の重い子とか神経質な子供は、集団生活のなかでがまんすることがなかなかできません。こういった性格の子供に対しては、母親はそれとなく手助けをしてあげ、一日も早くみんな

と一緒に遊べるように導いてやってください。

たとえば、行き帰りの道も、近所の友達や上級生といっしょに行動させるなどして、集団生活のルールを身につけさせるのもよいでしょう。

近くに同じ年ごろの子供がいなかったり、適当な遊び場所がなかったりすると、子供はどうしても家にとじこもりがちになります。外に連れ出して一緒に遊んでやるとか、友達を見つけてやるように心がけたいものです。また逆に、自分の家に友達を呼ぶなど、積極的に家庭を開放するのもよいでしょう。

友達関係で気をつけたいのは、子供の前で友達の欠点を口にしないことです。「あの子と遊ばないよ」とか「もつとよい友達はいないの」などというのは、単なる大人の感覚でしかない場合が多いものです。まず子供の世界を知ること、これが母親の第一の役割といえましょう。

“心の疲れ” を見抜こう

勝気な子供が保育所や学校に行きたくないときは「イヤ」と口に出してゴネますが、内気な子供は腹が痛いとか頭が痛いといっ

間接的に表現します。

イヤになった理由とは聞くと、ランドセルが友だちのよりよくないとか、帽子を友だちにひやかされたとか、ちよつとしたことが原因になっています。



また、幼児的な感覚から、背の高い先生とか声の大きな先生を怖がったり、授業中トンチンカンな答えをしたために笑われ、そのショックで登校拒否を起こすのも、よくあるケースです。

子供は、いままでの遊び中心の生活とは全くちがった環境に身を置くのですから、集団生活に一日でも早くなじめるように指導し、励ましてやってください。

では、どうすれば学校がらくなるのを防げるかというと、お母さんとしては、まず子供が心理的に疲れていないかどうかを見分けることが先決です。学校に行くの

国民年金保険料

四月から四、五〇〇円に

国民年金の定額保険料は、今年四月から一カ月につき四、五〇〇円に改められます。

国民年金は昨年の法改正により、夫婦がともに付加保険料に加入して二十五年間かけた場合、月額九四、〇〇〇円の老齢年金が支給されるようになります。

また、十年年金は月額二六、五〇〇円、五年年金も月額二二、六〇〇円に引き上げられました。さらに、母子・準母子年金に月



額一五、〇〇〇円の加算制度を創設するなどの改善が行われました。このように、一段と頼れる年金になった国民年金を将来も維持していくためには、一カ月約八、〇〇〇円程度の保険料が必要だと計算されています。

ただし、少ない負担で多くの年金を望むことでしようが、いかに充実した制度となってもその裏付けとなる年金財政が確立していなければ、それこそ「絵にかいたモチ」に終わってしまいます。

そのような事態にならないために、私たちは給付に見合う保険料の負担を行う必要があります。もし私たちがこれを怠れば、そのツケは後代の人々に引き継がれます。ますます大きな負担を強いられることになります。はたして、このような身勝手な後代の人々は納得してくれるでしょうか。

そこで、国では給付に見合う保険料を加入者のみなさんに負担してもらおうわけですが、急激な負担増とならないように保険料の改定は、これまでどおり段階的に引き上げていくことになっています。今後、加入者のみなさんの負担

は大きくなりますが、国民年金をよりよい制度にするためのやむを得ない措置ですので、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

保険料の掛け忘れはありませんか

国民年金に加入しているみなさん、保険料を決められた期限までに掛けていますか。

保険料を掛け忘れてしまうと、万一のときに支給される障害年金や母子年金などが受けられないばかりか、老後の支えとなる老齢年金も受けられないこともあります。もし、掛け忘れの保険料があったら、すぐに掛けましょう。



また、保険料を滞り納めていますと、ますます額もかさみ一段と掛けにくくなります。

このようなことにならないよう国民年金の保険料は、決められた期限までにキチンと掛けるようにしましょう。

季節の話題

保育所に入るまで

保育所に入るまで、あと一カ月。胸をはずませてたのしみにしている子供もいれば、やっぱり行きたくないとかグズっている子もいるでしょう。そんな子供の様子をみながら、集団の中に入って大丈夫かしら……と、あれこれ不安になるのは、初めての子供を保育所に出すお母さん。そんなお母さんたちのために心理学者で東京女子大学教授の白井常さんからいくつかのアドバイスをしてもらいました。



第一は名前。自分の持ちもの、ロッカー、げた箱などがわかるようひらがなの自分の名前だけは読めるように。近所の看板の文字、新聞のチラシ広告の文字などの中から「よっちゃん」の「よ」はこれ

第二はトイレ。自分の家と違ってくるので返事ができないようではなりません。

第三はトイレ。自分の家と違って、混んでいる時のために早め

文化財を守ろう

さる二月一日「文化財防火デー」にちなんだ船岡山万善寺にある本町指定の文化財「良寛遺墨九条錫杖」を守る放水訓練と搬出訓練が万善寺部でなされました。

この日午後三時、文化財保護関係者や部落民の見守る中、出火合図の発煙筒がたかると寺では、一一九番するとともに消火器で初期消火につとめ、地元消防団は濃煙を発見すると「火の見やぐら」に登り半鐘を鳴らして部落民に知らせるなど初期消火活動につとめていました。また一方では小型動力ポンプで放水開始後もなく、団や本部の消防車といっしょに駆けつけたレンジャー隊も手際よく文化財を搬出して訓練の成果をあげていました。

訓練終了後、集会場前では同地区の婦人達による消火器の使用方法や火災の未然防止等の話しを熱心に聞いていました。

火災は、ちよつとした不注意が原因で起こることが多いのです。くれぐれも火の元にはご注意ください。

